

## ブラジルの政策金利の引き下げについて

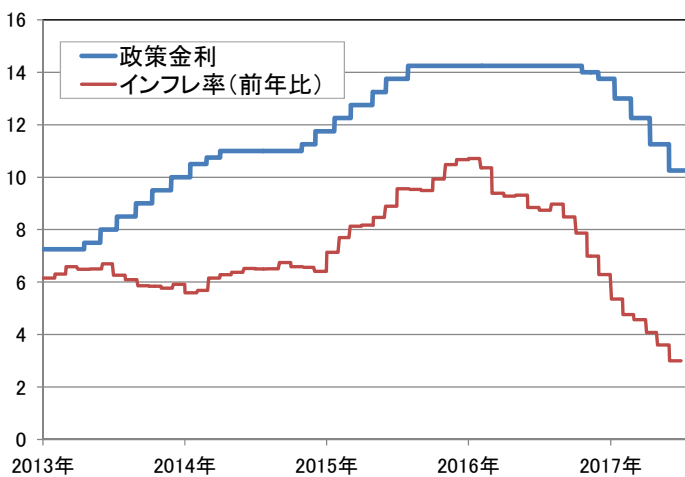
2017年7月26日(現地時間)、ブラジル中央銀行は、COPOM(金融政策委員会)において、Selic(政策金利)を1%引き下げ、年率9.25%とすることを決定しました。

1%の引き下げ幅は3会合連続で、市場の事前予想通りとなりました。COPOMは今回の声明で、財政再建に向けた改革を巡る不確実性はあるものの、経済に与える影響は限定的であることを決定の理由にしています。

5月にテメル大統領の汚職疑惑が発覚し、政治情勢の混乱が利下げペースに影響を及ぼすことが懸念されていましたが、7月11日に労働改革法案が上院で可決されるなど改革に一定の進捗が見られたことや、インフレ率が落ち着いて推移していることなども、今回の決定を後押ししたと思われる。

引き続き、緩和的な金利環境が実態経済と金融市場を下支えすることが期待されますが、政治情勢には依然不透明感があり、景気回復や金融政策のシナリオへ与える影響も大きいことから、引き続き動向を注視してまいります。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移  
(2013年1月1日~2017年7月26日)



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2017年1月11日	13.00	-0.75
2017年2月22日	12.25	-0.75
2017年4月12日	11.25	-1.00
2017年5月31日	10.25	-1.00
2017年7月26日	9.25	-1.00

\* 政策金利: Selic を使用。

\* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータより BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

### 本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料は BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が上記の時点で作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。